

第105回MIPEL展にJAPANブースが6回目の出展&MIPELアワード入賞！

一般社団法人日本皮革産業連合会では、平成26年3月2日(日)～5日(水)にイタリアのフィエラ・ミラノ展示会場において開催された国際バッグ・雑貨見本市である第105回MIPEL展に9月展に続けて6回目のJAPANブースを設け出展しました。

展示会には、国内の選定委員会で選ばれた6社が日本製または日本で鞣した革を使った革製品（バッグ・鞆・小物、ベルト、手袋等）を出展しました。

審査の結果、MIPELアワードの4部門のうち、パノラマ部門において株式会社タイコウレザージュエルズが入賞しました。

商談面では、イタリア、イギリス、スイス、スペインをはじめとしたヨーロッパ諸国、ロシア、シンガポール、中国、南アフリカ等から引き合いがありました。

展示会の様子は以下の通りです。

<MIPELアワード>



右がMIPELアワードパノラマ部門に入賞した株式会社タイコウレザージュエルズの大野氏、左が展示会主催者AIMPESのカンナーラ会長

<MIPEL及び JAPANブースの様子>

(会場入口付近)



(日本ブースのバナー)

(日本ブースの全体風景)



【出展各社の代表的な製品等】

大峽製鞆(株) <http://www.ohbacorp.com>



ビジネスバッグ、財布からランドセルまで、最上級の素材を使用した多くの高品質の製品を展示していました。同社は、既にイタリアの百貨店との取引実績もあり、イタリア、イギリス等からの商談が持ち込まれていました。

(株)ネギシ <http://Kiami.jp>



世界遺産に登録された屋久杉を薄くスライスし、木織専用機械で織り上げた素材を皮革素材と組み合わせたバッグを出展しました。イタリア等の企業から、素材感や軽さについて注目が集まっていました。

デザインや価格等について多くの意見が寄せられ、今後のブランド展開に活用していくことができました。

ノーノーイエス(株) <http://nonoyes.com>



一枚の革から折り紙のように縫製なしで作られたバッグや財布など、デザイン性の高い製品と藍染が注目を集め、デンマーク、イタリア、スイスの企業から受注を受けるとともに、南アフリカ、スウェーデン等の多くの企業との商談を進めました。

また、財布をその場で革から製作しプレゼントする実演が注目を集めました(下の写真)。

(株)クロダ <http://www.kuroda.co.jp>



京都の絞り染めの技法を活用した素材、金箔素材、導電性素材などによる手袋を出展し、スペイン等のヨーロッパや韓国等と商談を進めました。特徴ある素材と縫製の良さが注目を集めました。

(株)タイコウ レザージュエلز <http://www.taikohnet.com>



クロコダイルのジャケット、グローブ、バッグが注目を集め、中国、シンガポール、台湾等の企業から発注がありました。

今回、MIPELアワードを初受賞しました。

(株)ボーグラン (株)池田工芸 <http://www.beaugrand.co.jp>



国内での長いバッグ生産の経験を基盤としたブランドで、柔らかいエキゾチックレザー製品を出展しました。大振りポストンバッグ、メタリック加工のナイルクロコハンドバッグなどのゴージャスな製品が注目を集め、イギリス、イタリア等の欧州、ロシア、韓国等の企業と商談を進めました。

また、同社製品は、会場入り口付近に出展各社の代表的製品のひとつとして展示されました（下の写真、中央部のベージュのトートバッグ）。

<展示会概要>

- ・ 展示会名 : MIPEL THE BAG SHOW (<http://www.mipel.com/>)
- ・ 主 催 : AIMPES Servizi S.r.l.
- ・ 開催日時 : 平成 26年3月2日(日)～5日(水)9:30～19:00
- ・ 会 場 : フィエラ・ミラノ展示会場
- ・ 会場面積 : 20,000㎡
- ・ 展 示 品 : 紳士&婦人バッグ、鞆、小物、ベルト、手袋など
- ・ 出展者数 : 339社 (内訳 : イタリア245社、イタリア以外94社) (2013年9月展337社)
- ・ 来場者数 : 16,910人

(参考 : 2013年9月展入場者数15,058人

(内訳 : イタリア 7,250人、イタリア以外 7,808人))

- ・ JAPANブース : HALL 12 Stand A67、B68

<問い合わせ先>

一般社団法人日本皮革産業連合会 松月、島岡 TEL : 03-3847-1451